

令和5年度 ひやごん保育園 自己評価について

当園では、保育者が保育に対して”質の向上を図る目的”として、自己評価を実施しました。自己評価の研修に基づき、園全体としての評価や課題、今後の目的を全体で検討し、保育計画・実践の共通理解を図り、保育がより良いものになる様、自己評価の結果を公表致します。

★園全体での評価★

- ※ 園内での大きな怪我や事故等も無く、安全に過ごせた。
- ※ コロナ禍が明け更に多くの行事を行えた事で、多くの楽しみが味わえ園全体での一体感が感じられた。
- ※ 子どもひとりひとりの発達や成長に合わせた保育を共有したり、保育のあり方を改めて見直すことが出来た。
- ※ 今年度も、戸外活動を多く取り入れ、体力づくりが出来た。

★今年度の気付き★

- ※ 感染症が流行した際、お迎えが来る迄の間体調不良の園児を隔離するスペース確保が困難だった。
- ※ 月の行事に合わせた計画がしっかりと取り組めた。
- ※ 園児の登降園時には、日常の出来事を伝える事で、保護者とのコミュニケーションを取る事が出来た。

★今後の取り組みについて★

- ※ 保護者参加型の講話会を開催する。
- ※ しっかりと、子どもの主体性を引き出す保育を行う。
- ※ 災害（地震・津波）の避難訓練を、多く行う。
- ※ 心身のバランスを保ちながら、日々楽しく過ごせる保育を行う。
- ※ 地域交流を増やし、園、保護者、地域全体で子ども達を育てていく。

★次年度の目標★

- ※ 情報収集やキャリアアップ・資質向上を目的とした研修参加を増やしていく。
- ※ 表現力や発想力向上の為に、年齢やクラスに応じた、玩具を増やしていく。
- ※ “報・連・相”をしっかりと行う。

★総評★

コロナが5類に移行した事で、多くの行事を予定どおりに行う事ができ、園内が活気づいてきました。子ども達に笑顔が増え、それを見守る職員の笑顔もキラリと輝いています。主体性を大事にしつつ安心・安全な保育を心掛け毎日を楽しみ過ごせた事は、大いに評価出来ると思います。3年余りのコロナ禍での保育を振り返り改めて感じた事は、子ども達の体力の低下だと思っています。そこで次年度は、お散歩を更に多く取り入れ、体操を強化し、子ども達の体力作りに焦点をおき保育を進めてほしいと思います。「楽しみながらの体力作り」に先生方の良いアイデアを期待します。